

## **JIMTEF 第3回災害医療研修ベーシックコース参加報告**

場所：独立行政法人 国立病院機構 災害医療センター

主催：公益財団法人 国際医療技術財団（JIMTEF/ジムテフ）

参加者（数字は人数）

都道府県別：北海道(4)、岩手県(2)、宮城県(1)、秋田県(2)、山形県(2)  
福島県(5)、茨城県(6)、栃木県(1)、群馬県(3)、埼玉県(7)、東京都(8)  
千葉県(2)、神奈川県(17)、新潟県(2)、石川県(2)、山梨県(2)  
長野県(1)、岐阜県(3)、静岡県(2)、愛知県(1)、三重県(2)  
京都府(3)、大阪府(4)、兵庫県(3)、奈良県(2)、和歌山県(4)  
島根県(1)、岡山県(1)、広島県(1)、山口県(2)、徳島県(1)  
香川県(4)、愛媛県(3)、高知県(1)、福岡県(3)、長崎県(1)  
大分県(1)、熊本県(1)、宮崎県(1)、鹿児島県(2)

団体別：柔道整復師(9)、鍼灸師(37)、理学療法士(20)、作業療法士(10)、栄養士(8)  
臨床心理士(18)、言語聴覚士(7)、臨床工学(2)、医師(1)  
救急救命士(1) 計114名

プログラム：

講義1「災害医療概論」

講師：災害医療センター臨床研究部長・DMAT事務局長 小井土 雄一

講義2「東日本大震災・東京電力福島第一原発事故に対する医療対応」

講師：災害医療センター・DMAT事務局長 近藤 久禎

講義3「急性期に各職種として何が出来るか」

講師：災害医療センター 小井土 雄一・市原 正行

講義4「避難所運営ゲーム HUG」（グループワーク）

講師：JIMTEF 災害医療研修準備委員会

講義5「亜急性期～慢性期に各職種として何が出来るか」（グループワーク）

講師：国立長寿医療研究センター 浅野 直也、 災害医療センター 河嶌 譲

講義6「災害医療の実際～常総の水害」

講師：災害医療センター 小早川 義貴、 茨城県理学療法士会 斉藤 秀之  
日本栄養士会 下浦 佳之、 日本鍼灸師会 大口 俊徳

その他 各種との情報交換

課題と感想：

- ・ 災害医療の概念について学ぶ事が出来たので、今後災害医療で必要となるキーワードや考え方を県士会会員にも伝えていく。
- ・ 県士会会長、理事、役員、災害対策委員会での災害対策本部の立ち上げ演習を行う。
- ・ エリアブロックごとの災害発生時の枠組みはまだ出来ていないため、今後出来るだけ速く枠組みを作り、連携を図っていく。
- ・ 今後は災害対策委員やエリアコーディネーターは災害発生時のマネージメント、県士会会員には災害時に直接支援が出来るように研修会やキャラバンの計画を立案する。
- ・ 災害時支援のボランティア登録が出来るような仕組みづくりをしていく。
- ・ 災害発生時、災害対策委員会や県士会会員が迅速に動く事が出来るよう、行政機関と協定等を結ぶ事が重要であると考えます。
- ・ また、平時より他職種と災害時に連携が出来るよう「災害医療・支援」について話す事が出来るような機会をもうけていきたい。

平成 28 年 2 月 1 日

文責：(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 松田 梓